

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2027年3月10日まで（2010年11月15日設定）
運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	主要先進国通貨建の国際機関債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要先進国通貨建の国際機関債を主要投資対象とします。 ・ 流動性、投資環境等を考慮し、一部、主要先進国の自国通貨建の国債に投資する場合があります。 ・ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 ・ 各通貨の組入比率は、「参照金利」や「債券市場の流動性」等を基に決定します。
主な組入制限	外貨建資産への投資は、制限を設けません。
分配方針	毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際機関債オープン （為替ヘッジあり）



第133期（決算日：2021年12月10日）
 第134期（決算日：2022年1月11日）
 第135期（決算日：2022年2月10日）
 第136期（決算日：2022年3月10日）
 第137期（決算日：2022年4月11日）
 第138期（決算日：2022年5月10日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「国際機関債オープン（為替ヘッジあり）」は、去る5月10日に第138期の決算を行いましたので、法令に基づいて第133期～第138期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額				(参考指数) ブルームバーグ グローバル総合： 国際機関債インデックス (円ヘッジベース)		債 組 入 比 率	券 率 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金	期 騰 落	中 率	期 騰 落			
109期(2019年12月10日)	円 8,947	円 10	円 10	0.1	169.59	% 0.2	% 95.9	% —	百万円 10,776
110期(2020年1月10日)	8,910	10	10	△0.3	169.32	△0.2	97.9	—	10,648
111期(2020年2月10日)	8,999	10	10	1.1	171.53	1.3	97.0	—	10,539
112期(2020年3月10日)	9,202	10	10	2.4	175.50	2.3	94.5	—	10,269
113期(2020年4月10日)	8,962	10	10	△2.5	171.46	△2.3	97.4	—	9,242
114期(2020年5月11日)	9,037	10	10	0.9	173.21	1.0	96.4	—	9,267
115期(2020年6月10日)	9,026	10	10	△0.0	173.16	△0.0	97.1	—	9,202
116期(2020年7月10日)	9,088	10	10	0.8	174.59	0.8	97.1	—	9,222
117期(2020年8月11日)	9,098	10	10	0.2	174.48	△0.1	98.9	—	9,180
118期(2020年9月10日)	9,059	10	10	△0.3	174.15	△0.2	97.6	—	9,083
119期(2020年10月12日)	9,061	10	10	0.1	174.84	0.4	98.2	—	8,986
120期(2020年11月10日)	9,025	10	10	△0.3	174.32	△0.3	98.5	—	8,897
121期(2020年12月10日)	9,067	10	10	0.6	175.96	0.9	98.7	—	8,843
122期(2021年1月12日)	9,026	10	10	△0.3	175.09	△0.5	99.9	—	8,755
123期(2021年2月10日)	8,981	10	10	△0.4	174.25	△0.5	98.2	—	8,105
124期(2021年3月10日)	8,856	10	10	△1.3	172.42	△1.0	96.0	—	7,878
125期(2021年4月12日)	8,841	10	10	△0.1	171.94	△0.3	96.4	—	7,802
126期(2021年5月10日)	8,806	10	10	△0.3	171.51	△0.2	97.6	—	7,752
127期(2021年6月10日)	8,810	10	10	0.2	171.66	0.1	99.1	—	7,524
128期(2021年7月12日)	8,820	10	10	0.2	172.31	0.4	97.1	—	7,465
129期(2021年8月10日)	8,892	10	10	0.9	173.87	0.9	98.0	—	7,343
130期(2021年9月10日)	8,839	10	10	△0.5	172.93	△0.5	97.4	—	7,207
131期(2021年10月11日)	8,703	10	10	△1.4	170.33	△1.5	98.6	—	6,953
132期(2021年11月10日)	8,763	10	10	0.8	171.82	0.9	100.5	—	6,894
133期(2021年12月10日)	8,744	10	10	△0.1	172.35	0.3	95.8	—	6,604
134期(2022年1月11日)	8,591	10	10	△1.6	169.17	△1.8	97.6	—	6,472
135期(2022年2月10日)	8,384	10	10	△2.3	164.77	△2.6	94.1	—	6,234
136期(2022年3月10日)	8,342	10	10	△0.4	164.18	△0.4	95.4	—	6,151
137期(2022年4月11日)	8,002	10	10	△4.0	157.84	△3.9	98.5	—	5,829
138期(2022年5月10日)	7,792	10	10	△2.5	155.50	△1.5	99.1	—	5,538

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、ブルームバーグ グローバル総合：国際機関債インデックス（円ヘッジベース）です。

ブルームバーグ グローバル総合：国際機関債インデックスとは、ブルームバーグが算出する世界の投資適格国際機関債の値動きを表す指数です。

ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）のサービスマークであり、三菱UFJ国際投信による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグの指数はブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグは、三菱UFJ国際投信の関係会社ではなく、ブルームバーグは、三菱UFJ国際投信が運用するファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグの指数に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		（ 参 考 指 数 ） ブルームバーグ グローバル総合： 国際機関債インデックス (円ヘッジベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		円	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第133期	(期 首) 2021年11月10日	8,763	—	171.82	—	100.5	—
	11月末	8,740	△0.3	172.25	0.2	97.0	—
	(期 末) 2021年12月10日	8,754	△0.1	172.35	0.3	95.8	—
第134期	(期 首) 2021年12月10日	8,744	—	172.35	—	95.8	—
	12月末	8,662	△0.9	170.42	△1.1	97.5	—
	(期 末) 2022年 1 月11日	8,601	△1.6	169.17	△1.8	97.6	—
第135期	(期 首) 2022年 1 月11日	8,591	—	169.17	—	97.6	—
	1 月末	8,560	△0.4	168.46	△0.4	97.5	—
	(期 末) 2022年 2 月10日	8,394	△2.3	164.77	△2.6	94.1	—
第136期	(期 首) 2022年 2 月10日	8,384	—	164.77	—	94.1	—
	2 月末	8,341	△0.5	165.33	0.3	94.9	—
	(期 末) 2022年 3 月10日	8,352	△0.4	164.18	△0.4	95.4	—
第137期	(期 首) 2022年 3 月10日	8,342	—	164.18	—	95.4	—
	3 月末	8,079	△3.2	160.65	△2.2	102.4	—
	(期 末) 2022年 4 月11日	8,012	△4.0	157.84	△3.9	98.5	—
第138期	(期 首) 2022年 4 月11日	8,002	—	157.84	—	98.5	—
	4 月末	7,934	△0.8	156.48	△0.9	98.2	—
	(期 末) 2022年 5 月10日	7,802	△2.5	155.50	△1.5	99.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第133期～第138期：2021年11月11日～2022年5月10日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第133期首	8,763円
第138期末	7,792円
既払分配金	60円
騰落率	-10.4%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ10.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

保有債券の利息収入を得られたことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

投資国で金利が上昇したことや、信託報酬など運用上の費用を計上したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第133期～第138期：2021年11月11日～2022年5月10日

投資環境について

▶ 債券市況

米欧長期金利は上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大に起因する供給制約やウクライナ情勢を背景とした資源価格の上昇などを受けて、世界的にインフレ圧力が高まったことなどを背景に、米国を中心に複数の国で金融政策正常化の前倒し観測が高まったことから、米欧長期金利は上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

主要先進国通貨建の国際機関債を主要投資対象とし、国際機関債の組入比率は高位を保ちました。また、債券市場における流動性の確保およびデュレーション調整等の観点から、国債にも一部投資を行いました。

各通貨の組入比率は、参照金利（為替ヘッジコスト控除後の金利水準）や債券市場の流動性などを基に決定しました。その結果、ユーロ、米ドルなどの通貨の組入比率を高めとしました。

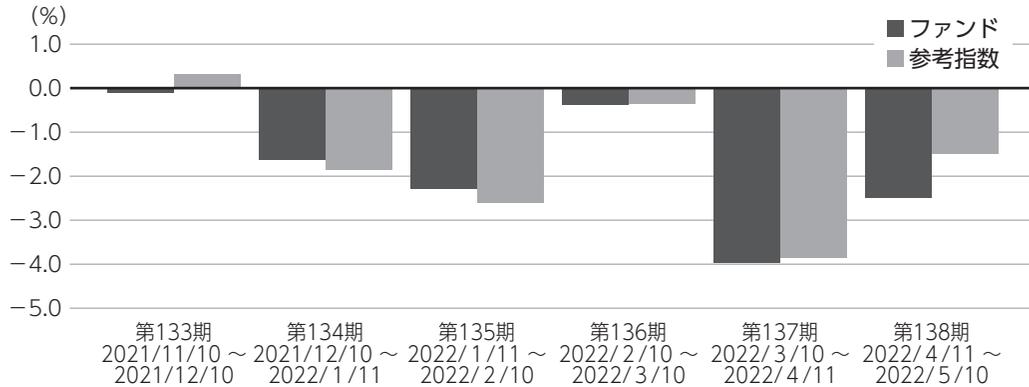
ポートフォリオでは、最上級格付であるAAA格相当の債券を中心に組み入れを行いました。

外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる運用を行いました。

第133期～第138期：2021/11/11～2022/5/10

当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はブルームバーグ グローバル総合：国際機関債インデックス（円ヘッジベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第133期 2021年11月11日~ 2021年12月10日	第134期 2021年12月11日~ 2022年1月11日	第135期 2022年1月12日~ 2022年2月10日	第136期 2022年2月11日~ 2022年3月10日	第137期 2022年3月11日~ 2022年4月11日	第138期 2022年4月12日~ 2022年5月10日
当期分配金 （対基準価額比率）	10 (0.114%)	10 (0.116%)	10 (0.119%)	10 (0.120%)	10 (0.125%)	10 (0.128%)
当期の収益	4	5	4	4	6	5
当期の収益以外	5	4	5	5	3	4
翌期繰越分配対象額	200	196	191	185	182	177

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

引き続き、主要先進国通貨建の国際機関債を主要投資対象とし、流動性・投資環境等を考慮し、一部、主要先進国の自国通貨建の国債に投資するなどして、安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行う方針です。

各通貨の組入比率は、参照金利（為替ヘッジコスト控除後金利水準）や債券市場の流動性等を基に決定する方針です。

ポートフォリオでは、引き続き、最上級格付であるA A格相当の債券を中心に組み入れを行う方針です。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

2021年11月11日～2022年5月10日

1万口当たりの費用明細

項目	第133期～第138期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	24	0.289	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(11)	(0.136)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(11)	(0.136)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	1	0.012	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	25	0.301	

作成期中の平均基準価額は、8,414円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

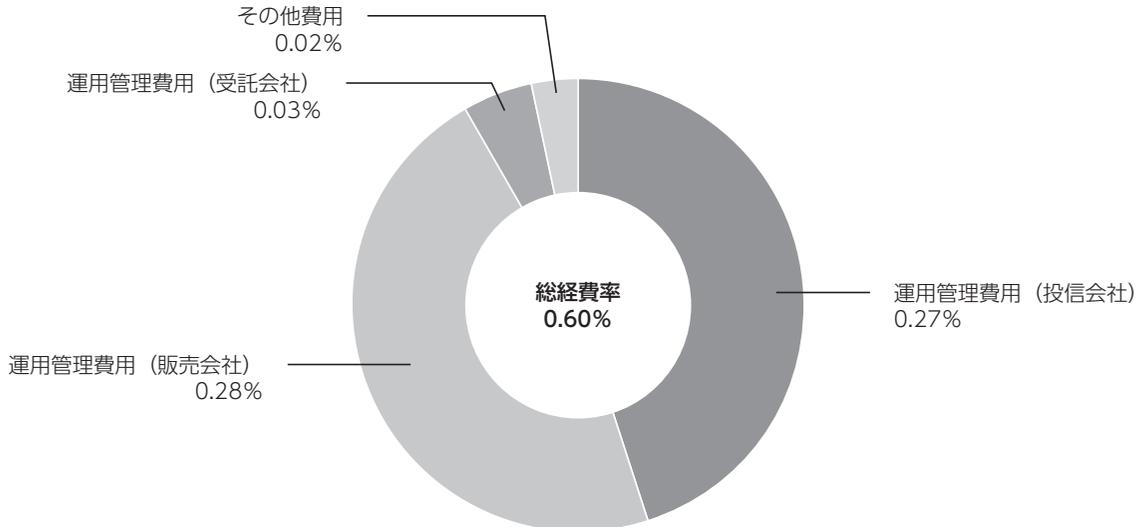
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.60%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2021年11月11日～2022年5月10日）

公社債

			第133期～第138期	
			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル	千アメリカドル
		特殊債券	—	929
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
			—	731
	ドイツ	国債証券	968	1,688
	国際機関	特殊債券	3,747	10,432

（注）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

○利害関係人との取引状況等

（2021年11月11日～2022年5月10日）

利害関係人との取引状況

区分	第133期～第138期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 44,476	百万円 35,868	% 80.6	百万円 42,545	百万円 34,401	% 80.9
為替直物取引	159	—	—	1,477	25	1.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年5月10日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第138期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 11,300	千アメリカドル 11,103	千円 1,443,840	% 26.1	% —	% 4.4	% 21.7	% —
カナダ	千カナダドル 6,000	千カナダドル 6,283	627,593	11.3	—	—	11.3	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	1,000	899	123,516	2.2	—	2.2	—	—
国際機関	23,500	20,711	2,843,100	51.3	—	51.3	—	—
イギリス	千イギリスポンド 800	千イギリスポンド 798	128,102	2.3	—	2.3	—	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 5,000	千ノルウェークローネ 4,876	65,346	1.2	—	—	1.2	—
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 3,500	千ニュージーランドドル 3,155	258,229	4.7	—	—	4.7	—
合 計	—	—	5,489,729	99.1	—	60.3	38.8	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	利 率	額面金額	第138期末		償還年月日
				評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	特殊債券	1.75	1,000	906	117,911	2029/9/19
		2.5	1,000	970	126,227	2027/11/2
		2.5	9,300	9,226	1,199,701	2024/11/25
小	計				1,443,840	
カナダ			千カナダドル	千カナダドル		
	特殊債券	4.4	3,000	3,135	313,178	2026/1/26
		4.55	3,000	3,147	314,414	2027/3/30
小	計				627,593	
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	—	1,000	899	123,516	2032/2/15
国際機関	特殊債券	0.1	1,600	1,144	157,159	2040/10/4
		0.25	11,000	9,997	1,372,361	2029/5/21
		0.45	2,000	1,518	208,389	2041/7/4
		0.625	4,500	4,261	584,933	2029/1/22
		0.7	2,000	1,494	205,099	2050/1/20
		0.75	2,400	2,295	315,156	2028/9/5
小	計				2,966,617	
イギリス			千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	1.625	800	798	128,102	2028/10/22
小	計				128,102	
ノルウェー			千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	特殊債券	1.75	5,000	4,876	65,346	2025/3/13
小	計				65,346	
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	特殊債券	1.75	3,500	3,155	258,229	2026/8/25
小	計				258,229	
合	計				5,489,729	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年5月10日現在)

項 目	第138期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,489,729	% 96.0
コール・ローン等、その他	226,221	4.0
投資信託財産総額	5,715,950	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（5,662,622千円）の投資信託財産総額（5,715,950千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=130.03円	1 カナダドル=99.88円	1 ユーロ=137.27円	1 イギリスポンド=160.37円
1 ノルウェークローネ=13.40円	1 オーストラリアドル=90.07円	1 ニュージーランドドル=81.84円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末	第138期末
	2021年12月10日現在	2022年1月11日現在	2022年2月10日現在	2022年3月10日現在	2022年4月11日現在	2022年5月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	13,042,500,475	13,237,215,500	12,655,911,304	12,284,082,436	12,224,327,528	11,285,958,343
コール・ローン等	97,263,871	244,973,297	381,301,464	227,359,664	111,622,063	178,109,397
公社債(評価額)	6,329,195,485	6,318,910,550	5,867,028,317	5,870,096,517	5,739,941,947	5,489,729,829
未収入金	6,590,854,521	6,640,336,699	6,381,983,035	6,157,678,505	6,342,814,168	5,585,249,946
未収利息	21,828,515	29,421,286	21,154,262	24,349,776	25,256,522	27,973,211
前払費用	761,903	697,827	1,270,777	1,162,377	1,015,878	945,094
その他未収収益	2,596,180	2,875,841	3,173,449	3,435,597	3,676,950	3,950,866
(B) 負債	6,438,321,694	6,764,568,951	6,421,639,105	6,132,605,246	6,394,756,859	5,746,981,070
未払金	6,417,534,791	6,747,158,151	6,409,705,427	6,107,900,867	6,383,305,174	5,718,417,411
未払収益分配金	7,552,488	7,533,981	7,435,683	7,373,866	7,284,933	7,108,931
未払解約金	10,000,012	6,497,970	1,410,421	14,527,178	1,083,432	18,801,624
未払信託報酬	3,210,171	3,353,536	3,064,453	2,782,340	3,060,227	2,633,228
未払利息	13	14	3	4	9	11
その他未払費用	24,219	25,299	23,118	20,991	23,084	19,865
(C) 純資産総額(A-B)	6,604,178,781	6,472,646,549	6,234,272,199	6,151,477,190	5,829,570,669	5,538,977,273
元本	7,552,488,695	7,533,981,289	7,435,683,315	7,373,866,503	7,284,933,395	7,108,931,598
次期繰越損益金	△ 948,309,914	△ 1,061,334,740	△ 1,201,411,116	△ 1,222,389,313	△ 1,455,362,726	△ 1,569,954,325
(D) 受益権総口数	7,552,488,695口	7,533,981,289口	7,435,683,315口	7,373,866,503口	7,284,933,395口	7,108,931,598口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,744円	8,591円	8,384円	8,342円	8,002円	7,792円

○損益の状況

項 目	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
	2021年11月11日～ 2021年12月10日	2021年12月11日～ 2022年1月11日	2022年1月12日～ 2022年2月10日	2022年2月11日～ 2022年3月10日	2022年3月11日～ 2022年4月11日	2022年4月12日～ 2022年5月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	7,077,805	7,561,030	6,963,017	6,250,547	7,649,663	6,939,887
受取利息	6,841,594	7,303,499	6,687,364	6,015,469	7,570,431	6,817,328
その他収益金	243,743	272,521	276,068	235,240	212,219	228,023
支払利息	△ 7,532	△ 14,990	△ 415	△ 162	△ 132,987	△ 105,464
(B) 有価証券売買損益	△ 10,392,308	△ 111,967,951	△ 150,028,432	△ 26,946,556	△ 244,753,511	△ 146,770,696
売買益	250,474,923	247,193,019	179,130,460	157,878,460	458,298,192	168,457,752
売買損	△260,867,231	△ 359,160,970	△ 329,158,892	△ 184,825,016	△ 703,051,703	△ 315,228,448
(C) 信託報酬等	△ 3,337,755	△ 3,378,835	△ 3,290,255	△ 2,898,391	△ 3,177,785	△ 2,759,671
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 6,652,258	△ 107,785,756	△ 146,355,670	△ 23,594,400	△ 240,281,633	△ 142,590,480
(E) 前期繰越損益金	△265,260,969	△ 278,513,963	△ 387,965,955	△ 536,746,587	△ 560,098,648	△ 787,349,148
(F) 追加信託差損益金	△668,844,199	△ 667,501,040	△ 659,653,808	△ 654,674,460	△ 647,697,512	△ 632,905,766
(配当等相当額)	(128,016,199)	(127,726,939)	(126,101,819)	(125,070,025)	(123,580,647)	(120,605,471)
(売買損益相当額)	(△796,860,398)	(△ 795,227,979)	(△ 785,755,627)	(△ 779,744,485)	(△ 771,278,159)	(△ 753,511,237)
(G) 計(D+E+F)	△940,757,426	△1,053,800,759	△1,193,975,433	△1,215,015,447	△1,448,077,793	△1,562,845,394
(H) 収益分配金	△ 7,552,488	△ 7,533,981	△ 7,435,683	△ 7,373,866	△ 7,284,933	△ 7,108,931
次期繰越損益金(G+H)	△948,309,914	△1,061,334,740	△1,201,411,116	△1,222,389,313	△1,455,362,726	△1,569,954,325
追加信託差損益金	△668,844,199	△ 667,501,040	△ 659,653,808	△ 654,674,460	△ 647,697,512	△ 632,905,766
(配当等相当額)	(128,016,199)	(127,726,939)	(126,101,819)	(125,070,025)	(123,580,647)	(120,605,471)
(売買損益相当額)	(△796,860,398)	(△ 795,227,979)	(△ 785,755,627)	(△ 779,744,485)	(△ 771,278,159)	(△ 753,511,237)
分配準備積立金	23,687,902	20,255,443	16,190,736	12,019,277	9,044,978	5,888,747
繰越損益金	△303,153,617	△ 414,089,143	△ 557,948,044	△ 579,734,130	△ 816,710,192	△ 942,937,306

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 7,867,007,488円

 作成期中追加設定元本額 57,206,371円

 作成期中一部解約元本額 815,282,261円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7792円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,569,954,325円です。

③分配金の計算過程

項 目	2021年11月11日～ 2021年12月10日	2021年12月11日～ 2022年1月11日	2022年1月12日～ 2022年2月10日	2022年2月11日～ 2022年3月10日	2022年3月11日～ 2022年4月11日	2022年4月12日～ 2022年5月10日
費用控除後の配当等収益額	3,740,050円	4,182,195円	3,672,762円	3,352,156円	4,471,878円	4,180,216円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	128,016,199円	127,726,939円	126,101,819円	125,070,025円	123,580,647円	120,605,471円
分配準備積立金額	27,500,340円	23,607,229円	19,953,657円	16,040,987円	11,858,033円	8,817,462円
当ファンドの分配対象収益額	159,256,589円	155,516,363円	149,728,238円	144,463,168円	139,910,558円	133,603,149円
1万口当たり収益分配対象額	210円	206円	201円	195円	192円	187円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	7,552,488円	7,533,981円	7,435,683円	7,373,866円	7,284,933円	7,108,931円

○分配金のお知らせ

	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。